

パレット標準化の実態調査

2023年5月

株式会社NX総合研究所

(株式会社日通総合研究所から社名変更)

目次

1. 調査の概要

- 1. 1. パレット利用実態の調査方法
- 1. 2. 実態調査の調査対象業種
- 1. 3. 実態調査の結果のサマリー

2. 輸送時のパレットの利用状況

- 2. 1. 社内輸送におけるパレットの利用状況（輸送トン数、サイズ別輸送トン数、業種ごとのサイズ別構成比）
- 2. 2. 社外輸送におけるパレットの利用状況（輸送トン数、サイズ別輸送トン数、業種ごとのサイズ別構成比）
- 2. 3. 社内輸送と社外輸送の比較
- 2. 4. 全国貨物純流動調査（物流センサス）のデータによる係数を設定した試算

3. 保管時のパレットの利用状況・荷役作業状況

- 3. 1. 保管におけるパレットの利用状況（保管トン数、サイズ別保管トン数、業種ごとのサイズ別構成比）
- 3. 2. 保管施設での保管形態、保管⇒出荷時の荷役作業状況（業種ごとの構成比）
- 3. 3. 輸送と保管のパレット化率の特徴

4. パレットの運用状況

- 4. 1. パレットの調達方法について
- 4. 2. パレットの回収実態について

5. 荷役の実態と改善に関する意向

- 5. 1. 輸送時のパレットの荷役作業実態について（輸送トン数）
- 5. 2. 手荷役の削減方策案について

6. 共同利用・共同回収に関する意向

7. パレット標準化に関する意向

1. 調査の概要

1. 1. パレット利用実態の調査方法

- パレットの利用実態については、総合物流施策大綱の1期目（1997～2001）に「パレタイズ化率の調査を行うとともに、物流機器購入の支援などの施策により、パレタイズ貨物の割合を高める。」（以下、罫線内に本文引用）といった記載があり、JILSが主体となりパレット化率の調査が2000年頃まで継続的に実施していた。

貨物のパレタイズ比率（貨物をパレットに積付けて輸送、保管等を行っている割合）の調査、一貫パレチゼーション（貨物をパレットに積付けたまま発送から到着の荷下ろしまでを一貫して行う輸送方式）に資する物流機器購入、輸送包装の開発・改良に対する支援等の施策により、パレタイズ可能貨物のうちのパレタイズ貨物の割合を高める。このため、これに資するよう、平成 10 年度から、パレタイズ可能な政府調達物資については、他の J I S 規格パレットが一般的に利用されている分野を除き、一貫輸送用パレット（T 11 型）によるよう努める。

- 今回の調査も当時の調査方法と調査票を参考に調査を行った。手順は下記のとおり。
 - ◎ 1997年～2001年当時の調査の対象としていた25業種の中から、パレット利用にそぐわない業種（鉄鋼業など）を除いた業種ごとの業界団体等を対象に調査を実施（詳細は次ページに記載）
 - ◎ 業界団体を通じ、会員企業にアンケート調査票を配布（メール送信）して回収

1. 調査の概要

1. 2. 実態調査の調査対象業種

- アンケート調査の対象業種と、回答件数は下記のとおり。
- 尚、下記のとおり回答業界については若干のバラつきがあるため、集計結果については、回答のあった業界を基礎として算出されている点に留意が必要。

業種名	回答数
アルミニウム圧延業	4
電線製造業	
伸銅品製造業	13
石油化学工業	19
日用品、化粧品業	8
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	9
タイヤ製造業	
ダイカスト製造業	9
自動車製造業	7
電子・電気機器製造業	
アパレル製造・卸売業	13
百貨店業	
チェーンストア業	9
コンビニストア業	7
紙・パルプ産業	1
麦酒業・清酒業	69
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	18
米流通業	14
青果業	25

計：224社

1. 調査の概要

1. 3. 実態調査の結果のサマリー

- 本アンケート調査への回答企業は積極的に物流の効率化を推進しており、全企業の平均よりも高いものと推測されるが、本調査でのパレット化率（すべての輸送量を分母とした場合）は、社内の施設への輸送：71.7%、社外の施設への輸送：71.8%、保管：86.7%となっている。（なお、15業種中11業種は社内の施設へのパレット化率のほうが高い）（輸送：5～11ページ、保管：15～17ページ）
- 一方で、保管⇒出荷時の荷役作業状況は、54%がパレットのまま輸送されているが、46%は別パレットへの積み替えやバラ積みなどの手荷役が発生している。（18ページ）
- 平パレットのサイズを業種単位の構成比で見ると、1100×1100mmの平パレットが幅広く利用されている。（7,10ページ）
- 参考試算となるが、輸送に使用しているパレットの調達形態は31.7%がレンタルとなった。（23ページ）
- パレットの回収は、荷主が自社の費用で自ら行い、少量（20枚程度）、随時回収となっているケースが多いと推測される。（24～27ページ）
- 共同利用・共同回収システムの普及・拡大は必要性については、3分の2が必要と回答しており、その理由として、「1. 利用者が増えることでパレット利用の費用が削減される可能性があるから」と「3. 利用者が増えることでパレットの効率的な利用が可能となり資源投入量が少なくなるから」の回答数が多くなっている。（33～36ページ）
- 民間の企業間で取り組めると考えられる方策案は、「a.パレット単位の発注の促進（パレット割引の適用）」が最も多く、過半数を超える回答数となった業種が多い。（40ページ）

2. 輸送時のパレットの利用状況

2. 1. 社内輸送におけるパレットの利用状況（輸送トン数）

- 社内の施設（自社の工場・事業所・店舗等）向けの輸送でパレットを使用している割合は、すべての貨物に対して71.7%、パレット化可能な貨物に対して79.4%となっている。

■輸送（トン／年）

	年間輸送量 [A]	パレット輸送して いる [B]	パレット輸送可 能だがしていない [C]	パレット化不適 合 [D]	輸送のパレット化率 （年間輸送量を分 母とした場合） [B]／[A]	輸送のパレット化率（パ レット輸送可能な輸送 量を分母とした場合） [B]／（[B]＋[C]）
アルミウム圧延業	377,489	290,079	200	87,210	76.8%	99.9%
伸銅品製造業	188,911	159,402	78	29,431	84.4%	100.0%
石油化学工業	6,079,045	3,589,593	1,263,197	1,226,255	59.0%	74.0%
日用品、化粧品業	1,524,408	1,195,920	326,255	2,233	78.5%	78.6%
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	1,524,783	1,071,786	219,180	233,817	70.3%	83.0%
ダイカスト製造業	74,266	74,256	4	6	100.0%	100.0%
自動車製造業	4,728,966	4,424,453	53,200	251,313	93.6%	98.8%
アパレル製造・卸売業	783,168	0	14,132	769,036	0.0%	0.0%
チェーンストア業	3,358,174	2,184,460	442,095	731,619	65.0%	83.2%
コンビニストア業	7,376,903	34,028	7,227,000	115,875	0.5%	0.5%
紙・パルプ産業	1,921,052	268,947	115,263	1,536,842	14.0%	70.0%
酒類・飲料	22,142,223	22,079,883	38,179	24,162	99.7%	99.8%
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	4,906,919	3,855,781	676,015	375,123	78.6%	85.1%
米流通業	413,312	387,026	986	25,300	93.6%	99.7%
青果業	485,394	473,666	6,749	4,979	97.6%	98.6%
合計	55,885,013	40,089,279	10,382,534	5,413,200	71.7%	79.4%

2. 輸送時のパレットの利用状況

2. 1. 社内輸送におけるパレットの利用状況（サイズ別輸送トン数）

- 社内の施設向けの輸送で使用するパレットのサイズ等は、輸送トン数で見ると1100×900mmが最も多く、次いで、1100×1100mmパレットが多い。
- なお、パレットを使用していない「アパレル製造・卸売業」以外のすべての業種で1100×1100mmが使用されている。

■輸送（トン／年）

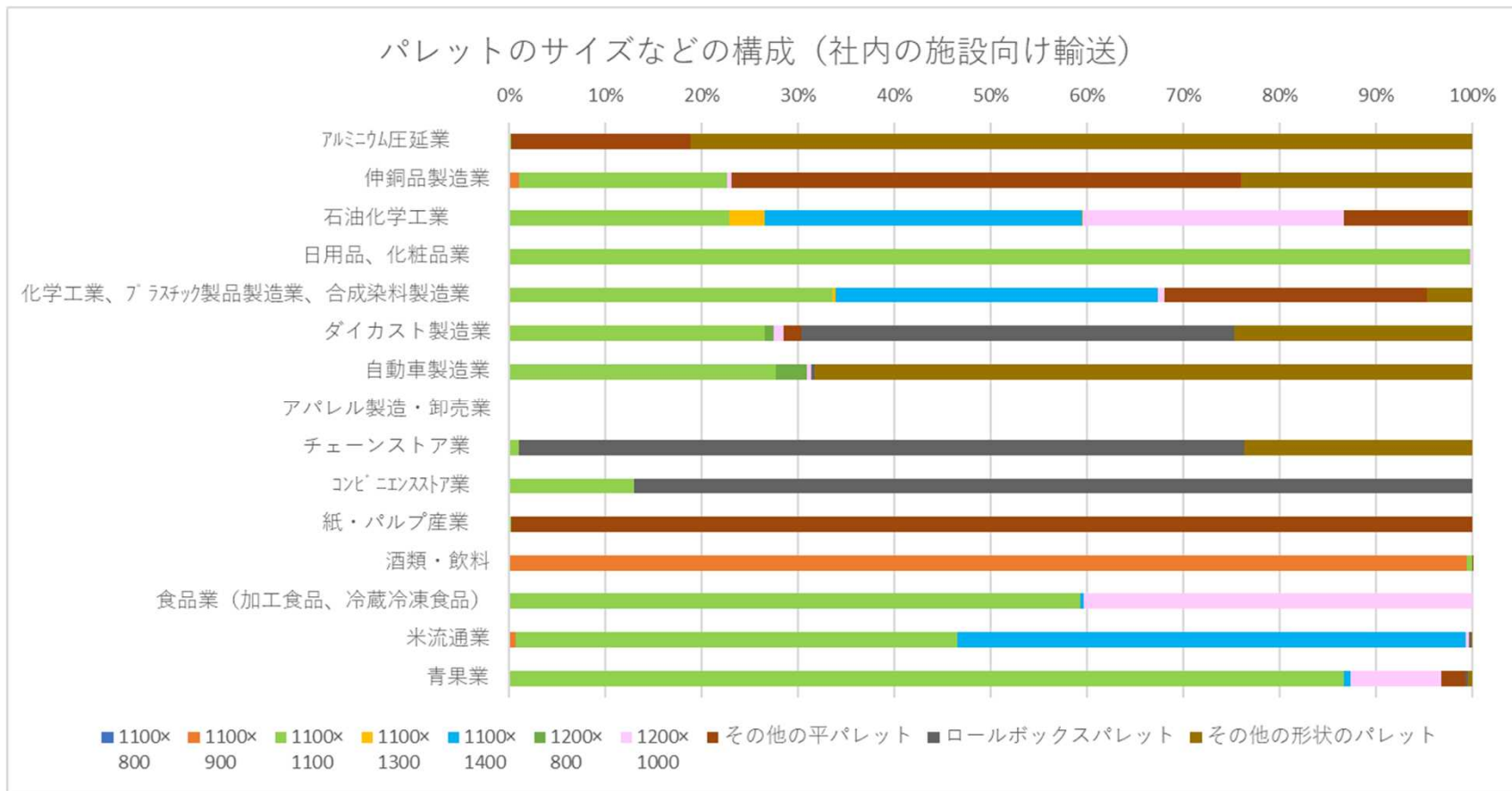
	1100× 800	1100× 900	1100× 1100	1100× 1300	1100× 1400	1200× 800	1200× 1000	その他の平パ レット	ロールボックス パレット	その他の形状 のパレット
アルミウム圧延業			614					54,075		235,389
伸銅品製造業	134	1,580	34,325				806	84,232		38,325
石油化学工業			821,472	131,536	1,181,498	871	974,196	463,428	1,296	15,295
日用品、化粧品業			1,192,958				2,962			
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業		100	360,039	3,077	358,409		7,678	292,451		50,032
ダイカスト製造業		10	19,719			687	731	1,374	33,414	18,321
自動車製造業			1,225,002			142,450	20,350		16,983	3,019,667
アパレル製造・卸売業										
チェーンストア業			23,550						1,643,618	517,292
コンビニストア業			4,424						29,604	
紙・パルプ産業			538					268,409		
酒類・飲料	980	21,946,805	129,523	435	238			1,902		
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）			2,286,084		14,685		1,555,012			
米流通業		2,438	177,717		204,381		1,050		1,050	390
青果業	10	137	410,190	120	3,435		44,496	11,911	1,253	2,115

2. 輸送時のパレットの利用状況

2. 1. 社内輸送におけるパレットの利用状況（業種ごとのサイズ別構成比）

- 1100×1100mmの分布が幅広く見られ、業種では、「日用品・化粧品業」「青果業」での使用が多い。
- 業種ごとに特徴的なパレットサイズなどを抽出すると、「酒類・飲料」は1100×900mm、「冷蔵冷凍食品（食品業に含む）」は1200×1000mm、「アルミニウム圧延業」と「自動車製造業」でその他の形状、
「チェーンストア業」と「コンビニエンスストア業」はロールボックスパレットの使用がそれぞれ多くなっている。

■業種ごとの構成比



2. 輸送時のパレットの利用状況

2. 2. 社外輸送におけるパレットの利用状況（輸送トン数）

- 社外の施設（顧客の施設等）向けの輸送でパレットを使用している割合は、すべての貨物に対して71.8%、パレット化可能な貨物に対して83.9%となっている。

■輸送（トン／年）

	年間輸送量 [A]	パレット輸送量 している [B]	パレット輸送可 能だがしていな い [C]	パレット化不適 合 [D]	輸送のパレット化率 （年間輸送量を分母 とした場合） [B]／[A]	輸送のパレット化率（パ レット輸送可能な輸送 量を分母とした場合） [B]／（[B]＋[C]）
アルミウム圧延業	1,352,028	1,330,053	0	21,975	98.4%	100.0%
伸銅品製造業	303,422	206,854	0	96,567	68.2%	100.0%
石油化学工業	4,627,731	2,132,883	1,603,960	890,888	46.1%	57.1%
日用品、化粧品業	1,075,715	610,754	462,604	2,357	56.8%	56.9%
化学工業、プラスチック製品製造業、合成 染料製造業	32,815	17,974	10,062	4,779	54.8%	64.1%
ダイカスト製造業	15,135	14,962	76	98	98.9%	99.5%
自動車製造業	1,070,554	541,125	20,400	509,029	50.5%	96.4%
アパレル製造・卸売業	12,442	1,422	2,100	8,920	11.4%	40.4%
チェーンストア業	0	0	0	0		
コンビニストア業	208,411	144,483	0	63,928	69.3%	100.0%
紙・パルプ産業	1,550,616	263,605	108,543	1,178,468	17.0%	70.8%
酒類・飲料	14,041,880	13,655,391	119,515	266,974	97.2%	99.1%
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	5,114,583	2,538,121	1,357,772	1,218,690	49.6%	65.1%
米流通業	305,383	276,140	1,643	27,600	90.4%	99.4%
青果業	1,311,271	540,731	593,462	177,078	41.2%	47.7%
合計	31,021,985	22,274,495	4,280,138	4,467,352	71.8%	83.9%

2. 輸送時のパレットの利用状況

2. 2. 社外輸送におけるパレットの利用状況（サイズ別輸送トン数）

- 社外の施設向けの輸送で使用するパレットのサイズ等は、社内の施設向けと同様のサイズや種類のパレットを使用する傾向となっている。

■輸送（トン／年）

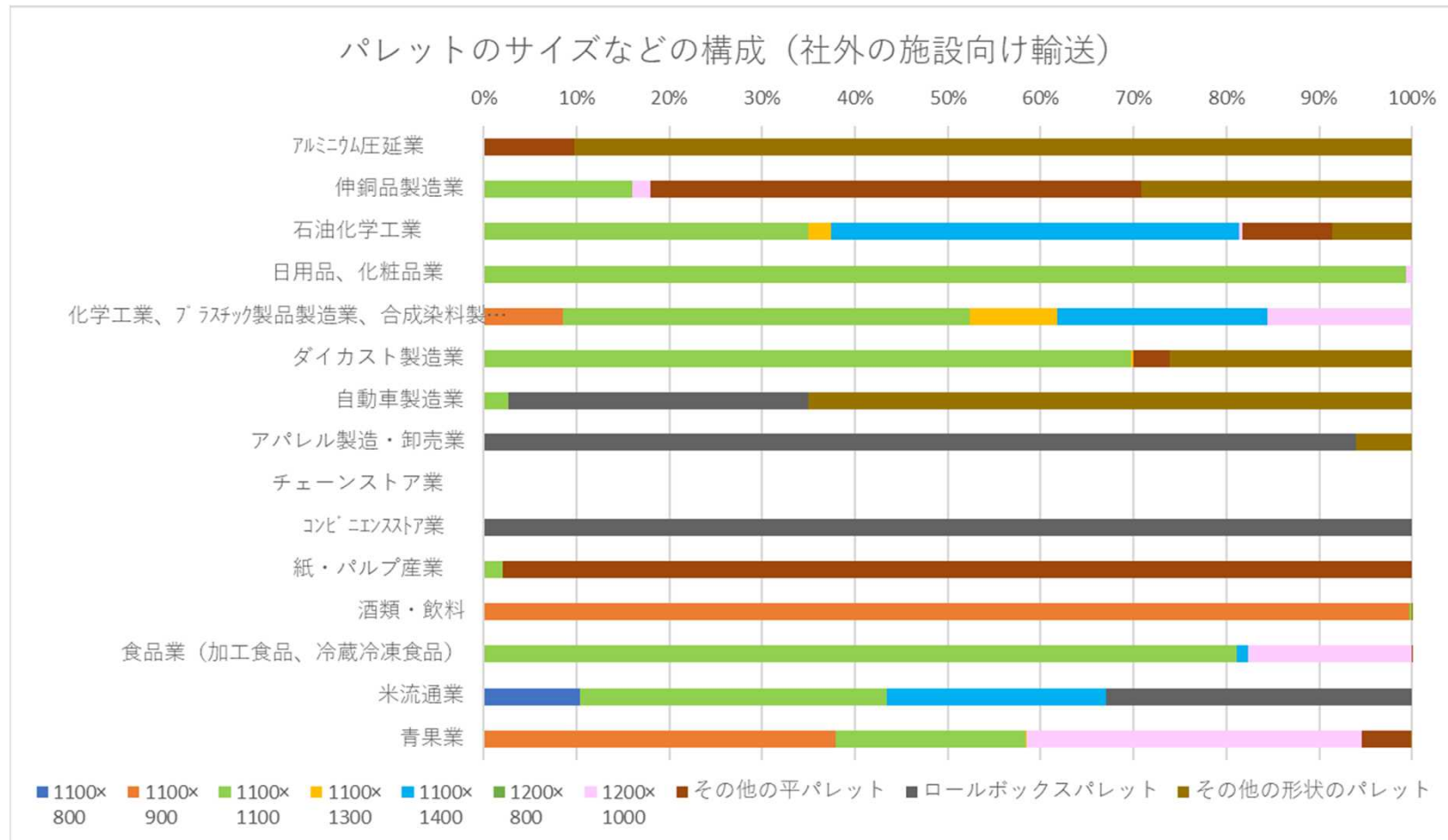
	1100× 800	1100× 900	1100× 1100	1100× 1300	1100× 1400	1200× 800	1200× 1000	その他の平パ レット	ロールボックス パレット	その他の形状 のパレット
アルミウム圧延業								130,089		1,199,964
伸銅品製造業			32,983				4,051	109,605		60,215
石油化学工業			745,212	51,745	938,072	227	8,720	204,245	1,496	183,167
日用品、化粧品業			606,983				3,771			
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業		1,529	7,882	1,692	4,074		2,797			
ダイカスト製造業		19	10,414	37			5	580		3,907
自動車製造業			14,618						174,600	351,906
アパレル製造・卸売業									1,336	85
チェーンストア業										
コンビニエンスストア業									144,483	
紙・パルプ産業			5,272					258,333		
酒類・飲料		13,619,286	32,619				2,837	265	343	41
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）		1,919	2,056,791		31,450		447,331	630		
米流通業	28,626		91,437		65,017		20	20	91,020	
青果業		204,702	110,767	420			195,545	28,472		825

2. 輸送時のパレットの利用状況

2. 2. 社外輸送におけるパレットの利用状況（業種ごとのサイズ別構成比）

- 大きな傾向は、社内の施設と同様に1100×1100mmの分布が幅広く見られるが、社内の施設への輸送と比較して社外の施設への輸送では、「米流通業」のロールボックスパレット、「青果業」の1100×900mmの割合が増加しているなど割合の変化が見られる。

■業種ごとの構成比



2. 輸送時のパレットの利用状況

2. 3. 社内輸送と社外輸送の比較

- パレット化率は、社内の施設（自社の工場・事業所・店舗等）向けの輸送では、すべての貨物に対して71.7%、パレット化可能な貨物に対して79.4%となっている。それに対し、社外の施設への輸送のパレット化率は、すべての貨物に対して71.8%、パレット化可能な貨物に対して83.9%となり、社外の施設へのパレット化率が高くなっている。
- これは、パレット輸送している割合が低い、アパレル製造・卸売業とコンビニエンスストア業の社内の施設への輸送量が多く、全体のパレット化率を押し下げていることが要因であり、多くの業種で社内の輸送でのパレット化率が高い傾向にある。（社内と社外で率が高いほうに網掛け）

	輸送のパレット化率（年間輸送量を分母とした場合） [B]/[A]		輸送のパレット化率（パレット輸送可能な輸送量を分母とした場合） [B]/[A]	
	社内の施設	社外の施設	社内の施設	社外の施設
アルミ圧延業	76.8%	98.4%	99.9%	100.0%
伸銅品製造業	84.4%	68.2%	100.0%	100.0%
石油化学工業	59.0%	46.1%	74.0%	57.1%
日用品、化粧品業	78.5%	56.8%	78.6%	56.9%
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	70.3%	54.8%	83.0%	64.1%
ダイカスト製造業	100.0%	98.9%	100.0%	99.5%
自動車製造業	93.6%	50.5%	98.8%	96.4%
アパレル製造・卸売業	0.0%	11.4%	0.0%	40.4%
チェーンストア業	65.0%	0.0%	83.2%	0.0%
コンビニストア業	0.5%	69.3%	0.5%	100.0%
紙・パルプ産業	14.0%	17.0%	70.0%	70.8%
酒類・飲料	99.7%	97.2%	99.8%	99.1%
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	78.6%	49.6%	85.1%	65.1%
青果業	93.6%	90.4%	99.7%	99.4%
米流通業	97.6%	41.2%	98.6%	47.7%
合計	71.7%	71.8%	79.4%	83.9%

2. 輸送時のパレットの利用状況

2. 4. 全国貨物純流動調査（物流センサス）のデータによる係数を設定した試算

- 本調査はアンケート形式で行っており、回答数によって母集団の範囲が異なるため、業種単位で単純に比較することができない。そこで、全国の品目別の輸送量をもとに係数を設定し、より現状に近い物量になるように試算した。
- 具体的には、全国貨物純流動調査（物流センサス）の3日間調査の品目別輸送量になるように、回答データを係数により調整して試算した。
- なお、統計との品目が正確にマッチングしないので、業種を複数で合計した数値との比較を行った品目・業種がある。係数（倍数）の設定状況は下記のとおり。（保管量のデータはないので、輸送量のみ試算した）
- また、品目のマッチングにおいて、係数が小さくなった「酒類・飲料」は回答数が多い影響と推測されるが、「日用品・化粧品・アパレル製造・卸売業」は、一部の企業（洗剤など）が、物流センサスでは「化学工業」に含まれていることなどが推測される。

■輸送（トン）

	物流センサスによる輸送量（3日間調査）[X]	社内施設へ輸送	社外施設へ輸送	輸送量合計[Y]	係数[X]÷[Y]
アルミニウム圧延業・伸銅品製造業	202,789	566,400	1,655,450	2,221,850	0.091
石油化学工業	1,789,111	6,079,045	4,627,731	10,706,776	0.167
日用品・化粧品・アパレル製造・卸売業	152,957	2,307,576	1,088,157	3,395,733	0.045
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	1,656,594	1,524,783	32,815	1,557,598	1.064
ダイカスト製造業・自動車製造業	757,743	4,803,232	1,085,689	5,888,921	0.129
紙・パルプ産業	631,358	1,921,052	1,550,616	3,471,668	0.182
酒類・飲料	491,978	22,142,223	14,041,880	36,184,103	0.014
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	1,028,601	4,906,919	5,114,583	10,021,502	0.103
米流通業	87,992	413,312	305,383	718,695	0.122
青果業	218,506	485,394	1,311,271	1,796,665	0.122
合計	7,017,630	45,149,937	30,813,574	75,963,511	0.092

2. 輸送時のパレットの利用状況

2. 4. 全国貨物純流動調査（物流センサス）のデータによる係数を設定した試算

■ 輸送におけるパレットの利用状況（サイズ別輸送量：トン数）

- ・全国貨物純流動調査（物流センサス）のデータによる係数を設定して試算した結果、平パレットのサイズ・種類別に見ると、1100×1100mmの割合が最も高く、32.6 %となっている。
- ・次いで、1100×1400mm、その他（サイズ）の平パレット、1100×900mm、1200×1000mmの順となっている。

■輸送（トン）

	物流センサスによる輸送量との比較による係数（倍率）	1100×800	1100×900	1100×1100	1100×1300	1100×1400	1200×800	1200×1000	その他の平パレット	ロールボックスパレット	その他の形状のパレット
アルミ圧延業・伸銅品製造業	0.091	12	144	6,199	0	0	0	443	34,500	0	139,999
石油化学工業	0.167	0	0	261,794	30,626	354,182	184	164,246	111,569	467	33,163
日用品・化粧品・アパレル製造・卸売業	0.045	0	0	81,077	0	0	0	303	0	60	4
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	1.064	0	213	765,843	6,544	762,377	0	16,333	622,076	0	106,424
ダイカスト製造業・自動車製造業	0.129	0	4	163,383	5	0	18,418	2,713	251	28,951	436,689
紙・パルプ産業	0.182	0	0	1,057	0	0	0	0	95,793	0	0
酒類・飲料	0.014	13	483,575	2,205	6	3	0	39	29	5	1
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	0.103	0	197	445,750	0	4,735	0	205,519	65	0	0
米流通業	0.122	3,505	298	32,954	0	32,983	0	131	2	11,272	48
青果業	0.122	1	24,912	63,358	66	418	0	29,193	4,911	152	358
合計		3,531	509,343	1,823,618	37,247	1,154,699	18,601	418,921	869,198	40,907	716,685
サイズ・種類の構成比		0.1%	9.1%	32.6%	0.7%	20.6%	0.3%	7.5%	15.5%	0.7%	12.8%

3. 保管時のパレットの利用状況・荷役作業状況

3. 1. 保管におけるパレットの利用状況（保管トン数）

- 保管でパレットを使用している割合は、すべての貨物に対して86.7%、パレット化可能な貨物に対して98.2%となっている。

■保管（トン）

	平均保管量 [A]	パレット保管 している [B]	パレット保管 可能だがして いない [C]	パレット化不 適合	保管のパレット 化率（平均保 管量を分母とし た場合） [B]/[A]	保管のパレット化率 （パレット保管可能 な物量を分母とした 場合） [B]/（[B]+[C]）
アルミ圧延業	74,173	61,174	0	12,999	82.5%	100.0%
伸銅品製造業	15,247	6,715	7	8,525	44.0%	99.9%
石油化学工業	1,140,703	764,833	82,923	292,947	67.0%	90.2%
日用品、化粧品業	171,914	171,852	0	61	100.0%	100.0%
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	513,478	410,649	164	102,665	80.0%	100.0%
ダイカスト製造業	626	598	23	5	95.6%	96.3%
自動車製造業	55,697	40,035	4,117	11,545	71.9%	90.7%
アパレル製造・卸売業	16,232	414	768	15,050	2.6%	35.0%
チェーンストア業	412,822	407,057	5,406	359	98.6%	98.7%
コンビニストア業	481,679	481,671	0	8	100.0%	100.0%
紙・パルプ産業	780,700	531,657		249,043	68.1%	100.0%
酒類・飲料	1,881,290	1,879,651	32	1,606	99.9%	100.0%
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	377,443	377,383		60	100.0%	100.0%
米流通業	10,170	9,999	2	169	98.3%	100.0%
青果業	2,698	2,648	25	25	98.1%	99.1%
合計	5,934,870	5,146,336	93,467	695,067	86.7%	98.2%

3. 保管時のパレットの利用状況・荷役作業状況

3. 1. 保管におけるパレットの利用状況（サイズ別保管トン数）

- 大きな傾向は輸送と同様であるが、「アパレル製造・卸売業」を含めてすべての業種で1100×1100mmが使用されている。

■保管（トン）

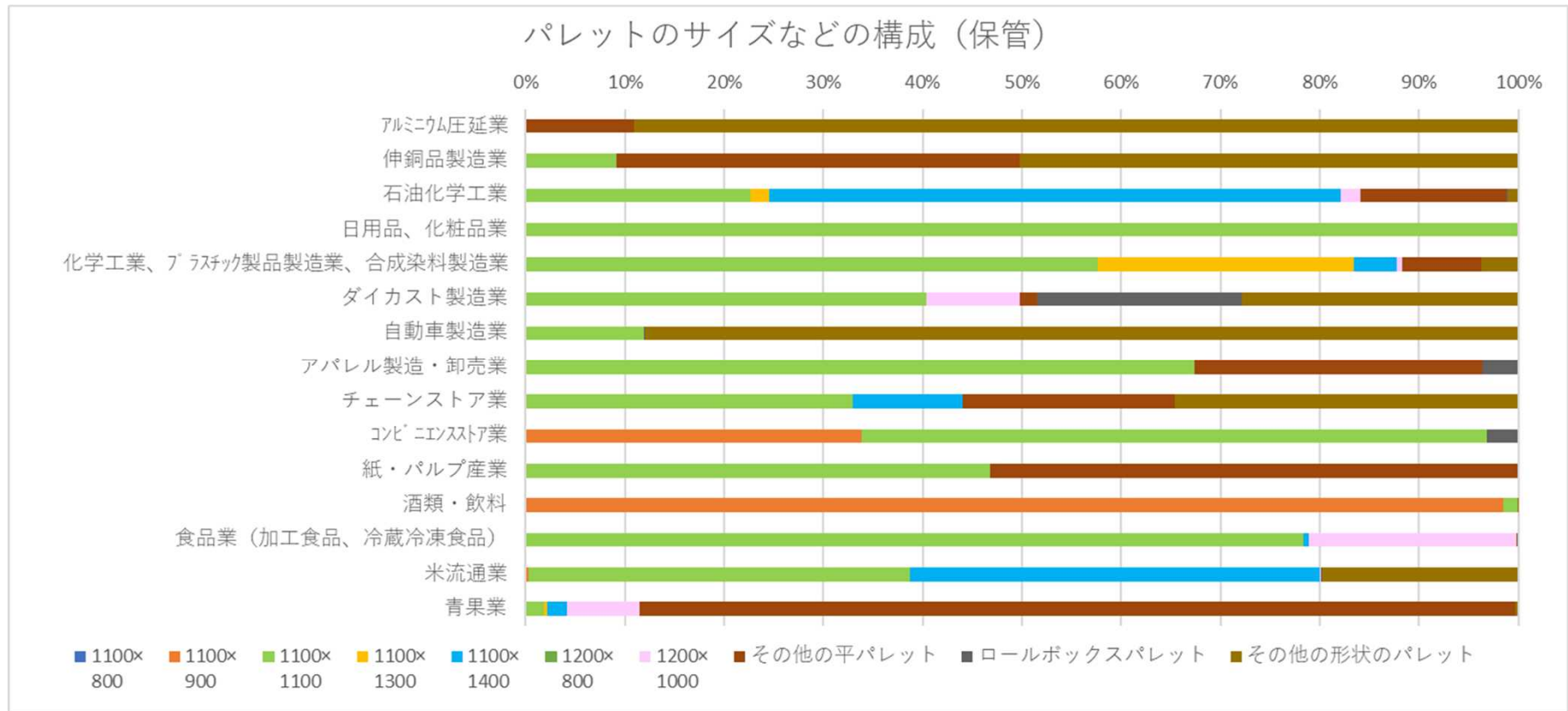
	1100× 800	1100× 900	1100× 1100	1100× 1300	1100× 1400	1200× 800	1200× 1000	その他の平 パレット	ロールボック スパレット	その他の形 状のパレット
アルミ圧延業			74					6,603		54,498
伸銅品製造業	0	2	612				2	2,729		3,370
石油化学工業	421	214	172,675	14,104	440,447	187	14,950	113,150	765	7,920
日用品、化粧品業			171,831				21			
化学工業、プラスチック製品 製造業、合成染料製造業			236,676	105,896	17,860	10	2,333	32,759		15,115
ダイカスト製造業			241				57	11	123	166
自動車製造業			4,761						34	35,240
アパレル製造・卸売業			279					120	15	
チェーンストア業		227	133,759		45,105			86,892		141,074
コンビニストア業		163,209	303,186						15,276	
紙・パルプ産業			248,815					282,841		
酒類・飲料		1,852,560	26,736	105		100	122	20		8
食品業（加工食品、冷蔵 冷凍食品）		225	295,385	40	2,220		78,733	781		
米流通業		33	3,841		4,123		15		8	1,980
青果業			49	10	51		194	2,336		8

3. 保管時のパレットの利用状況・荷役作業状況

3. 1. 保管におけるパレットの利用状況（業種ごとのサイズ別構成比）

- 1100×1100mmの分布が幅広く見られ、「チェーンストア業」と「コンビニエンスストア業」の平パレットの利用割合が高いことが輸送と異なった傾向となっている。

■業種ごとの構成比



3. 保管時のパレットの利用状況・荷役作業状況

3. 2. 保管施設での保管形態、保管⇒出荷時の荷役作業状況（保管トン数）

- 業種合計で見ると、保管時は「平置き」で保管されている割合が多い（71%）。
- 「保管用のパレットのまま出荷」は54%であり、46%で手荷役（バラ積み・積み替え）が発生している。

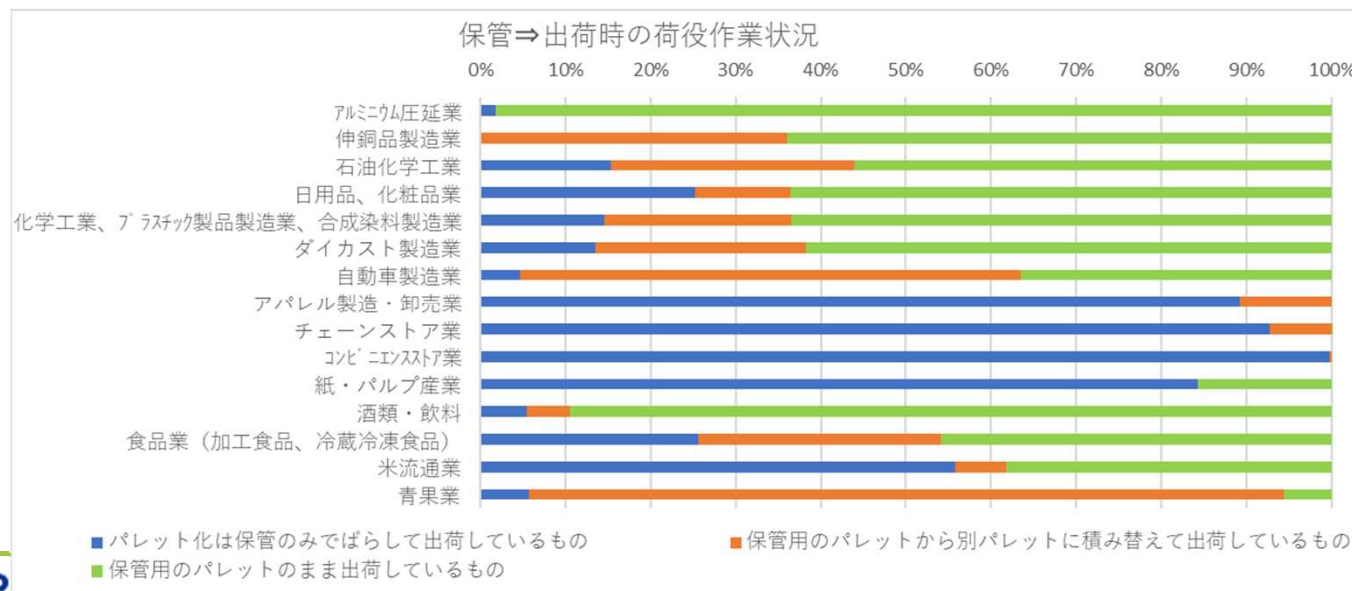
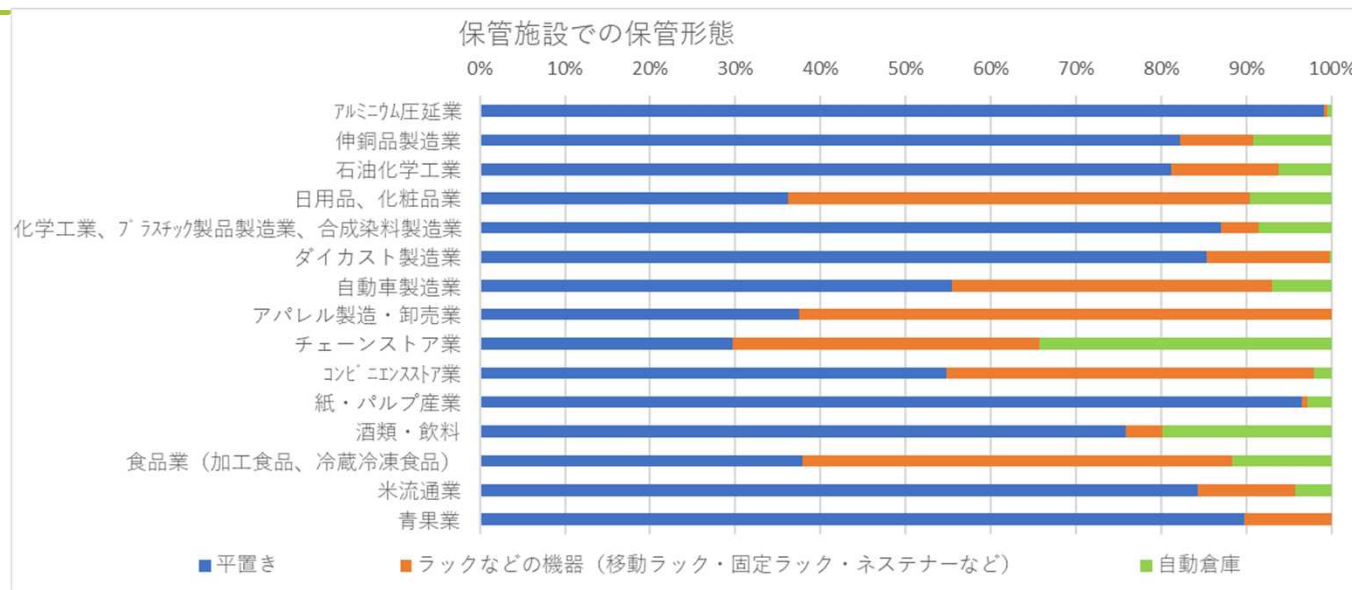
■保管（トン）

保管施設の保管形態	平置き	ラックなどの 機器（移動 ラック・固定 ラック・ネス テナーなど）	自動倉庫
アルミ圧延業	60,699	181	307
伸銅品製造業	5,542	571	622
石油化学工業	620,958	96,406	47,103
日用品、化粧品業	62,131	93,148	16,523
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	354,695	18,094	34,598
ダイカスト製造業	644	109	2
自動車製造業	21,730	14,736	2,757
アパレル製造・卸売業	155	259	0
チェーンストア業	120,959	146,690	139,482
コンビニストア業	264,071	208,000	9,600
紙・パルプ産業	513,580	3,190	14,886
酒類・飲料	1,424,165	81,201	371,400
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	97,636	130,242	30,077
米流通業	8,520	1,159	432
青果業	2,376	272	
合計	3,557,860	794,257	667,786
業種合計の構成割合	71%	16%	13%

保管⇒出荷時の荷役作業状況	パレット化は保管のみでばらして出荷しているもの	保管用のパレットから別パレットに積み替えて出荷しているもの	保管用のパレットのまま出荷しているもの
アルミ圧延業	1,108	3	60,071
伸銅品製造業	4	2,244	3,984
石油化学工業	117,285	217,490	427,405
日用品、化粧品業	43,416	19,149	109,473
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	59,897	90,427	260,335
ダイカスト製造業	107	195	489
自動車製造業	1,858	23,586	14,657
アパレル製造・卸売業	518	62	0
チェーンストア業	377,163	29,494	170
コンビニストア業	480,665	1,006	0
紙・パルプ産業	448,187		83,470
酒類・飲料	95,755	91,042	1,577,358
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	80,392	89,202	144,008
米流通業	3,128	335	2,147
青果業	153	2,391	151
合計	1,709,635	566,626	2,683,718
業種合計の構成割合	35%	11%	54%

3. 保管時のパレットの利用状況・荷役作業状況

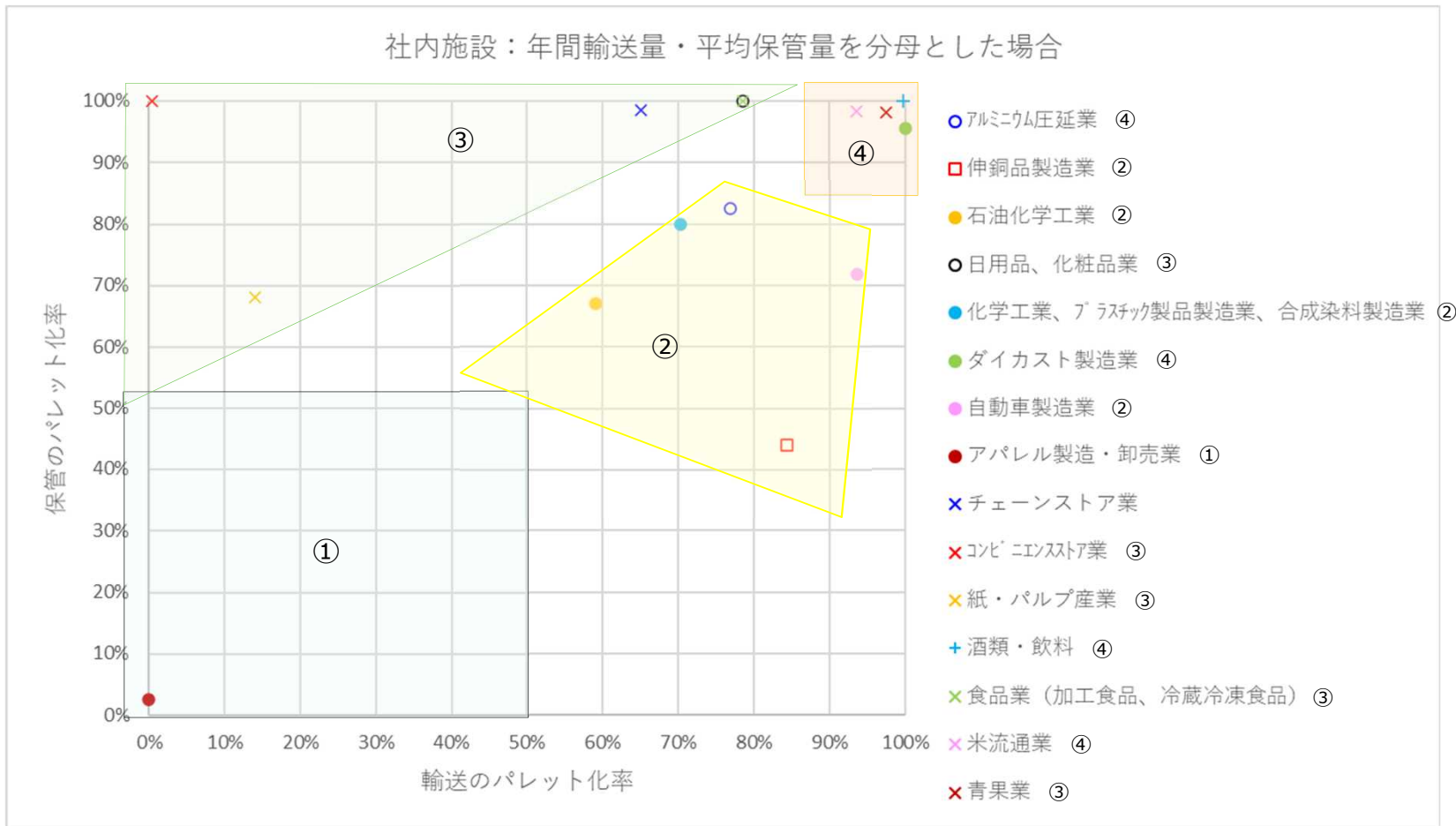
3. 2. 保管施設での保管形態、保管⇒出荷時の荷役作業状況（業種ごとの構成比）



3. 保管時のパレットの利用状況・荷役作業状況

3. 3. 輸送と保管のパレット化率の特徴（社内輸送：年間輸送量・平均保管量が分母）

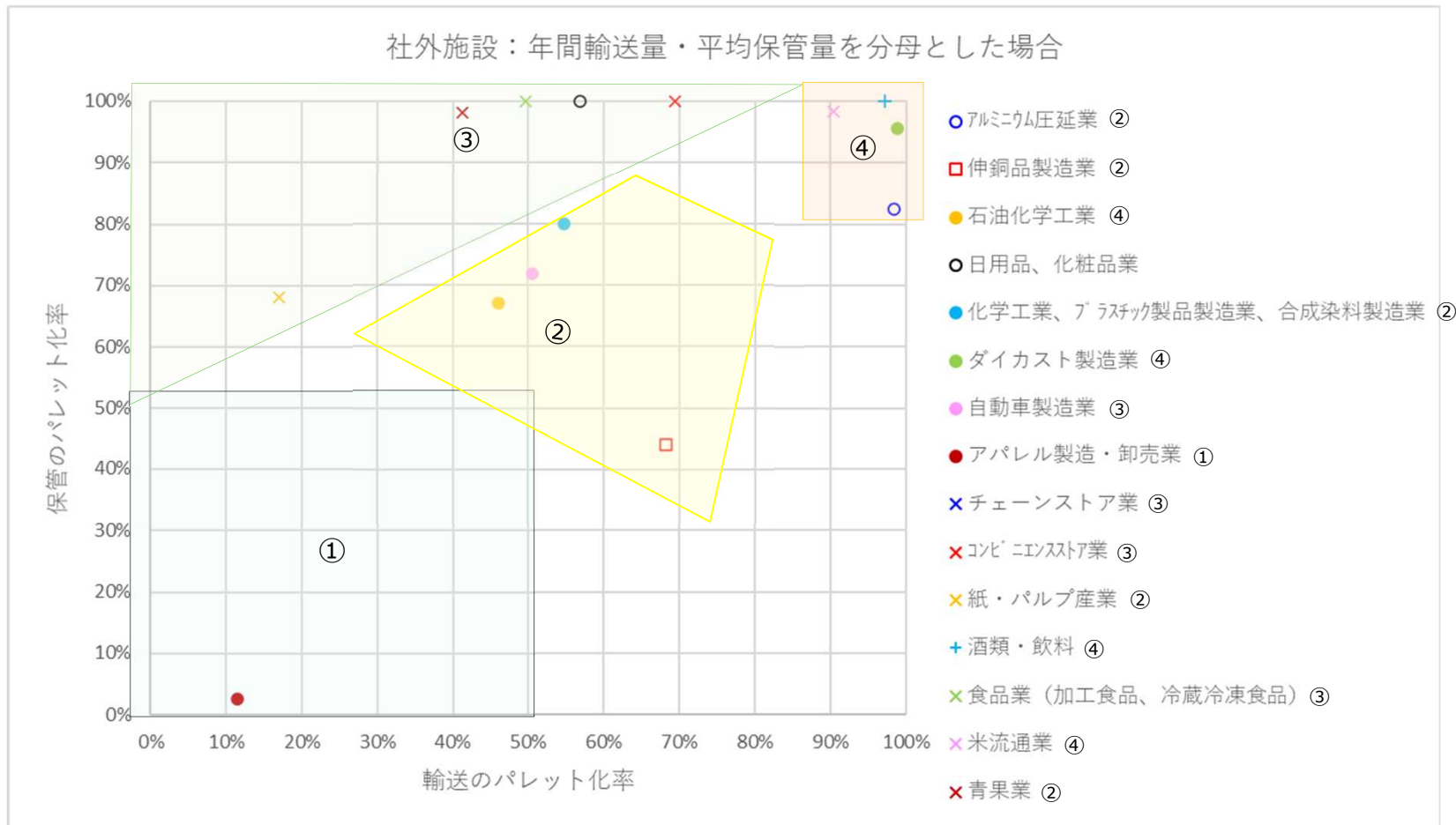
- ①輸送・保管ともにパレット化率が低い⇒パレット利用に適していない可能性が高い。
- ②輸送と保管のパレット化率がほぼ同じ⇒パレットの使用に適さない製品群などがある。
- ③保管のパレット化率が高い⇒輸送ロットや着荷主の状況などによって、パレット輸送が難しいことが推測される。
- ④輸送と保管のパレット化率が高く、かつ、ほぼ同じ割合となっている⇒パレットの利用が進んでいる。



3. 保管時のパレットの利用状況・荷役作業状況

3. 3. 輸送と保管のパレット化率の特徴（社外輸送：年間輸送量・平均保管量が分母）

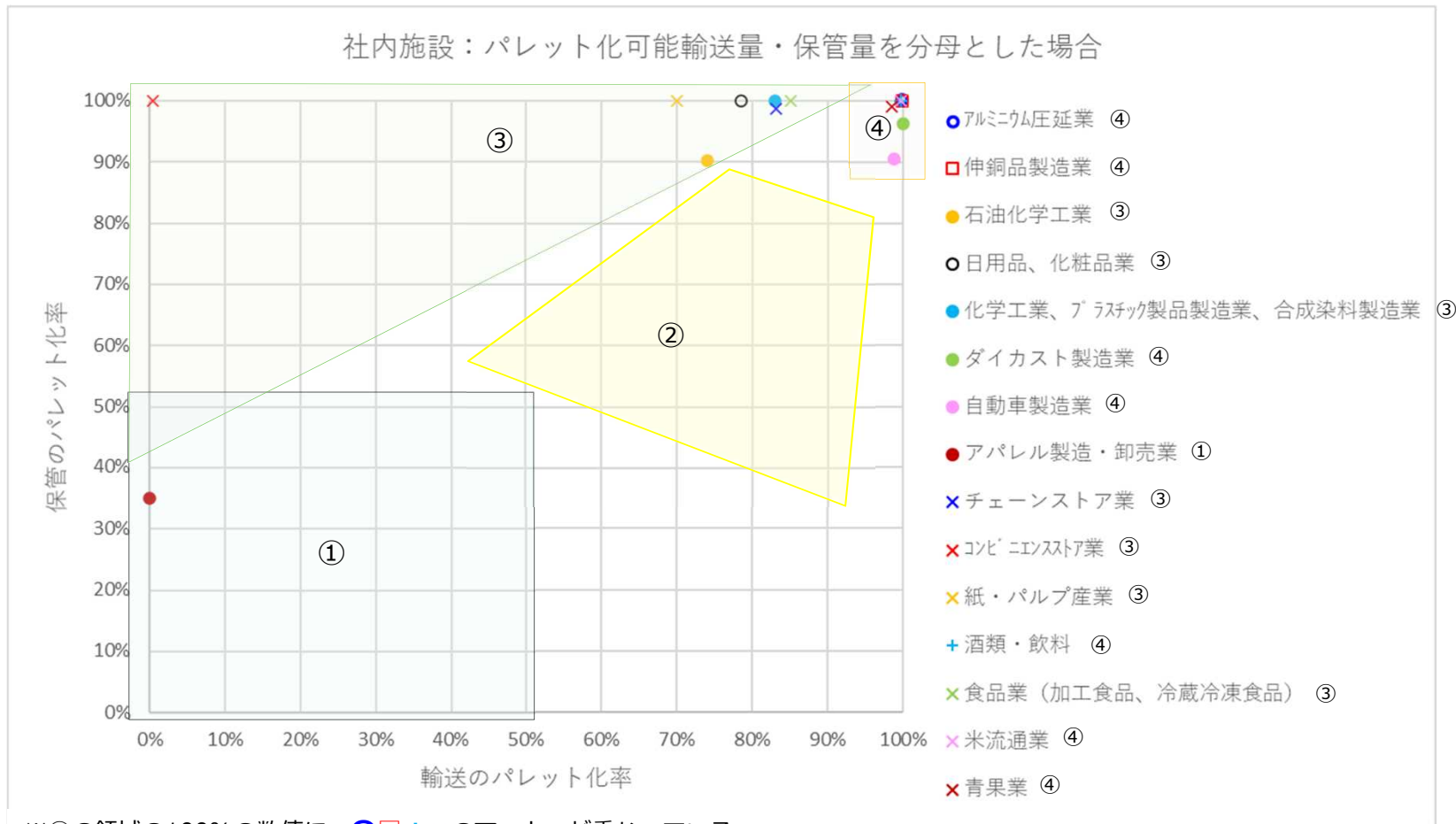
- ①輸送・保管ともにパレット化率が低い⇒パレット利用に適していない可能性が高い。
- ②輸送と保管のパレット化率がほぼ同じ⇒パレットの使用に適さない製品群などがある。
- ③保管のパレット化率が高い⇒輸送ロットや着荷主の状況などによって、パレット輸送が難しいことが推測される。
- ④輸送と保管のパレット化率が高く、かつ、ほぼ同じ割合となっている⇒パレットの利用が進んでいる。



3. 保管時のパレットの利用状況・荷役作業状況

3. 3. 輸送と保管のパレット化率の特徴（社内輸送：パレット化可能輸送・保管量が分母）

- ①輸送・保管ともにパレット化率が低い⇒パレット利用に適していない可能性が高い。
- ②輸送と保管のパレット化率がほぼ同じ⇒パレットの使用に適さない製品群などがある。（パレット化可能量が分母の場合は該当なし）
- ③保管のパレット化率が高い⇒輸送ロットや着荷主の状況などによって、パレット輸送が難しいことが推測される。
- ④輸送と保管のパレット化率が高く、かつ、ほぼ同じ割合となっている⇒パレットの利用が進んでいる。

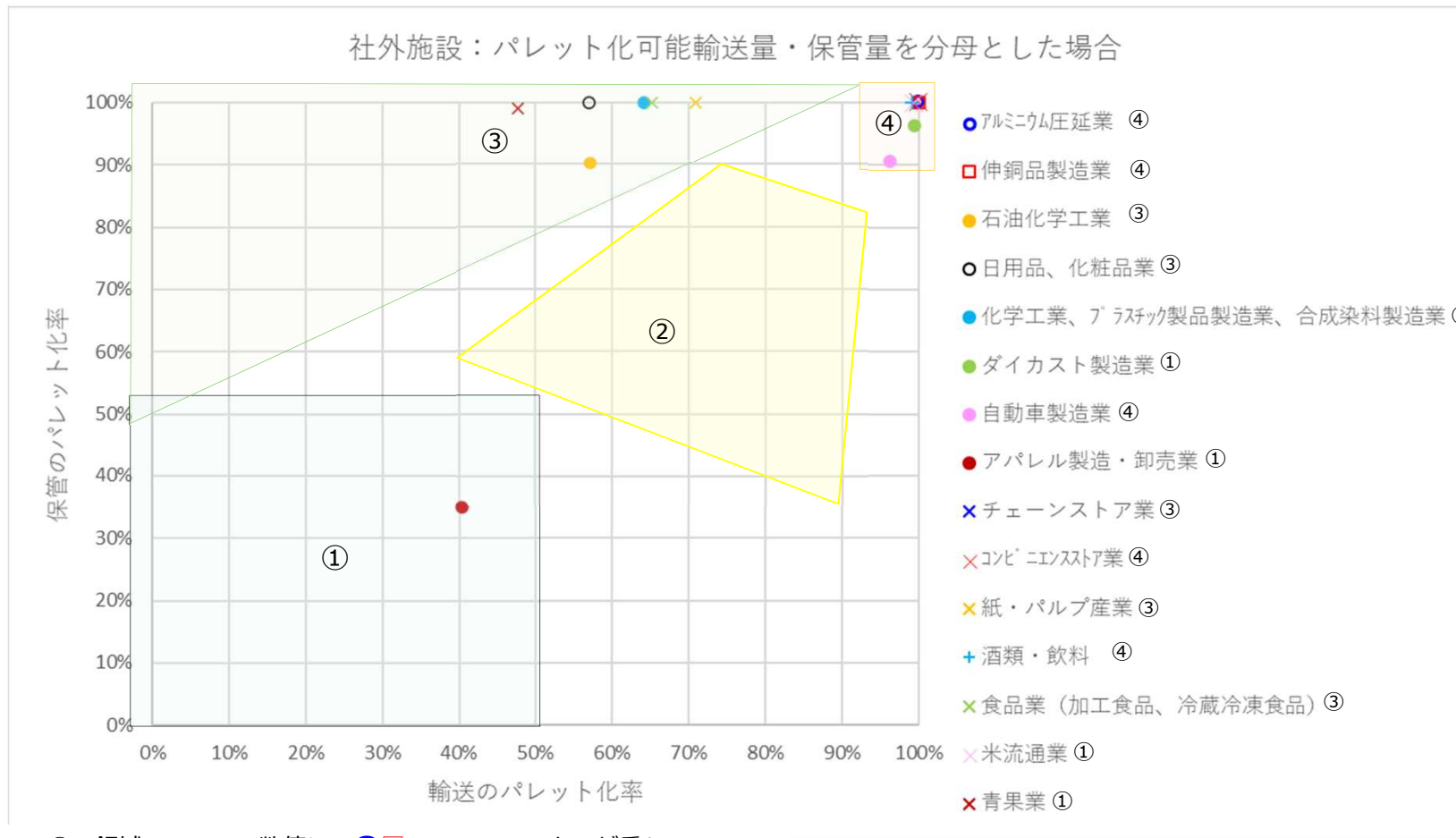


※④の領域の100%の数値に、○□+×のマーカーが重なっている

3. 保管時のパレットの利用状況・荷役作業状況

3. 3. 輸送と保管のパレット化率の特徴（社外輸送：パレット化可能輸送・保管量が分母）

- ①輸送・保管ともにパレット化率が低い⇒パレット利用に適していない可能性が高い。
- ②輸送と保管のパレット化率がほぼ同じ⇒パレットの使用に適さない製品群などがある。（パレット化可能量が分母の場合は該当なし）
- ③保管のパレット化率が高い⇒輸送ロットや着荷主の状況などによって、パレット輸送が難しいことが推測される。
- ④輸送と保管のパレット化率が高く、かつ、ほぼ同じ割合となっている⇒パレットの利用が進んでいる。



※④の領域の100%の数値に、○□×+×のマーカーが重なっている

4. パレットの運用状況

4. 1. パレットの調達形態について（レンタル比率）

- サイズ・種類と業種をすべて合計した輸送量を分母としてレンタル比率を見ると、レンタルパレットの利用率は31.7%となっている。
- レンタルパレットの利用割合が高い平パレットのサイズは、1100×1100mm、1100×1400mm、1100×1300mmの順である。
- 1200×1000mmは、使用している場合はレンタルの利用割合が高い業種が多いが、最も利用している「食品業（加工食品・冷蔵冷凍食品）」のレンタルの割合が低いいため、全体のレンタルパレットの利用率は低くなっている。

	1100× 800	1100× 900	1100× 1100	1100× 1300	1100× 1400	1200× 800	1200× 1000	その他の平 パレット	ロールブック スパレット	その他の形状 のパレット	業種計
アルミウム圧延業			0.0%					0.0%		58.7%	57.6%
伸銅品製造業	100.0%	0.0%	1.5%				100.0%	0.0%		37.2%	6.3%
石油化学工業		0.0%	62.7%	61.4%	74.7%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	64.6%
日用品、化粧品業			90.8%				100.0%				90.9%
化学工業、プラスチック製品 製造業、合成染料製造業			84.6%	0.0%	79.7%		0.0%	0.0%		51.0%	63.0%
ダイカスト製造業		0.0%	46.0%	100.0%	0.0%		100.0%	27.7%	6.8%	17.0%	21.1%
自動車製造業			12.1%		0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
アパレル製造・卸売業			0.0%					0.0%	0.0%		0.0%
チェーンストア業			37.3%		0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	7.0%
コンビニストア業		0.0%	8.0%						0.0%		2.3%
紙・パルプ産業			100.0%					0.0%			
酒類・飲料	0.0%	0.4%	70.1%	22.3%	0.0%		98.1%	0.0%	0.0%		1.6%
食品業（加工食品、冷蔵 冷凍食品）		0.0%	84.5%	0.0%	0.0%		0.1%	9.4%		0.0%	66.5%
米流通業		64.4%	92.5%		82.1%		0.0%	0.0%	98.0%		88.4%
青果業			39.1%	0.0%	0.0%		95.4%	0.0%	0.0%	53.2%	37.6%
サイズ・種類計	13.7%	0.5%	77.0%	60.5%	74.7%	0.0%	2.4%	1.1%	1.6%	4.6%	31.7%

※空欄はそもそもの輸送がない箇所、0.0%は輸送はあるもののレンタルの利用がない箇所

4. パレットの運用状況

4. 2. パレットの回収実態について（業種別内訳）

○回収実施者

- 使用後のパレットは自社で回収することが多い。多くの業種で、過半数を超えている。

（過半数を超えている場合は網掛け：以下、P27まで同様。（※1社回答の場合を除く））

	有効回答数	1. 自社が単独で回収	2. 他の企業と共同で回収	3. 業界単位をベースとした組織で回収	4. 複数業界をベースとした組織で回収	5. レンタル・プールパレット会社が回収	6. その他
アルミ缶圧延業	4	4					
伸銅品製造業	13	11	1				1
石油化学工業	19	11	1			6	1
日用品、化粧品業	8					7	1
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	8	4				2	2
ダイカスト製造業	9	6	1	1			1
自動車製造業	7	6					1
アパレル製造・卸売業	3	2				1	
チェーンストア業	8	4	1	1		1	1
コンビニストア業	6	4		1		1	
紙・パルプ産業	1					1	
酒類・飲料	69	34	18	10	1	1	5
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	14	6				6	2
米流通業	14	8	3		1		2
青果業	20	5		2		4	9
合計	203	105	25	15	2	30	26

4. パレットの運用状況

4. 2. パレットの回収実態について（業種別内訳）

○回収ロット

- 使用後のパレットの回収ロットは、様々となっているが、少量と10トン車級が多くなっている

	有効回答数	1. 少量（車種に関係なく数枚から20枚程度）	2. 2トン車1台程度（20枚から50枚程度に相当）	3. J R 5トンコンテナ1基程度（50枚から100枚程度に相当）	4. 4トン車1台程度（100枚から150枚程度に相当）	5. 10トン車1台程度（150枚から250枚程度に相当）
アルミ圧延業	4	3	1			
伸銅品製造業	13	5	3	1	2	2
石油化学工業	18	4	7	1		6
日用品、化粧品業	5					5
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	7	2	3		1	1
ダイカスト製造業	8	4	1		1	2
自動車製造業	6	1		1		4
アパレル製造・卸売業	4	3			1	
チェーンストア業	8	2	1		1	4
コンビニストア業	6	1	2			3
紙・パルプ産業	1				1	
酒類・飲料	68	32	13		6	17
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	14	3	4			7
米流通業	14	7	4		2	1
青果業	19	13	3		2	1
合計	195	80	42	3	17	53

4. パレットの運用状況

4. 2. パレットの回収実態について（業種別内訳）

○回収頻度

- 使用後のパレットの回収頻度は、随時回収が最も多く、次いで、毎日回収が多い。
- 回収頻度は短期間になる傾向となっている。

	有効回答数	1. 随時回収	2. 毎日回収	3. 2～3日ごとに回収	4. 週1回程度回収	5. 2, 3週間に1回程度回収	6. 月に1回程度	7. その他
アルミウム圧延業	4	2			2			
伸銅品製造業	13	7	1	1	1	1	1	1
石油化学工業	18	8		1	2	4	3	
日用品、化粧品業	5	2	1		1	1		
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	6	2		1		1	1	1
ダイカスト製造業	8	3	3	1		1		
自動車製造業	6	2	3	1				
アパレル製造・卸売業	3	2						1
チェーンストア業	8		5	1	1		1	
コンビニストア業	6	1	1	2	2			
紙・パルプ産業	1					1		
酒類・飲料	68	37	10	5	4	3	7	2
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	14	7	2	2	1	1		1
青果業	14	7	3	2		1	1	
米流通業	18	13	3		1		1	
合計	192	93	32	17	15	14	15	6

4. パレットの運用状況

4. 2. パレットの回収実態について（業種別内訳）

○回収の費用負担者

- 使用後のパレットの回収費用は、発荷主が負担している場合が多い。

	有効回答数	1. 発荷主が負担	2. 着荷主が負担	3. 物流事業者が負担	4. 発荷主と着荷主が分担して負担	5. 発荷主と物流事業者が分担して負担	6. 着荷主と物流事業者が分担して負担	7. 発荷主と着荷主と物流事業者の3者が分担して負担
アルミニウム圧延業	4	3	1					
伸銅品製造業	12	6	6					
石油化学工業	18	15	3					
日用品、化粧品業	8	6		1		1		
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	7	6		1				
ダイカスト製造業	8	5		1	2			
自動車製造業	5	4	1					
アパレル製造・卸売業	2		1	1				
チェーンストア業	8	7	1					
コンビニストア業	6	3		1		2		
紙・パルプ産業	1	1						
酒類・飲料	65	34	6	16		8		1
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	14	11		2		1		
米流通業	14	9		3		1	1	
青果業	18	3		12		3		
合計	191	113	19	38	2	16	1	1

5. 荷役の実態と改善に関する意向

5. 1. 出荷時のパレットの荷役作業実態について（輸送トン数）

- 社外の施設へのお荷時に「パレット化された貨物をバラして積込み」の割合が増えている業種は多い（日用品・化粧品業、化学工業・プラスチック製品製造業、合成染料製造業、コンビニエンス業、食品業、米流通業、青果業）

■輸送（トン）

◎社内の施設へのお荷時

	㊲パレット化された貨物をフォークリフト等でそのまま積み込み	㊳パレット化された貨物を別パレットに積替えて積み込み	㊴パレット化された貨物をバラして積み込み	㊵バラのものをパレット化して積み込み	㊶バラのものをそのまま積み込み	㊷その他
アルミ圧延業	289,784	0	0	0	495	0
伸銅品製造業	158,055	0	1,350	75	0	0
石油化学工業	3,419,558	133,638	292,903	22,725	893,212	0
日用品、化粧品業	1,187,347	7,395	327,434	0	0	0
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	621,018	27,593	622,556	0	19,689	110
ダイカスト製造業	67,173	902	3,436	687	2,063	0
自動車製造業	3,502,971	814,000	0	1,561	159,121	0
アパレル製造・卸売業	0	0	8,200	0	5,932	0
チェーンストア業	11,775	1,228,406	442,095	944,279	0	0
コンビニストア業	0	72,270	7,154,730	0	0	34,028
紙・パルプ産業	273,558	0	110,653	0	0	0
酒類・飲料	21,521,949	283,078	53,375	248,094	1,929	800
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	3,485,742	394,534	651,520	0	0	0
米流通業	274,594	99,894	49	31	829	12,617
青果業	22,879	379,520	318	0	8,836	0

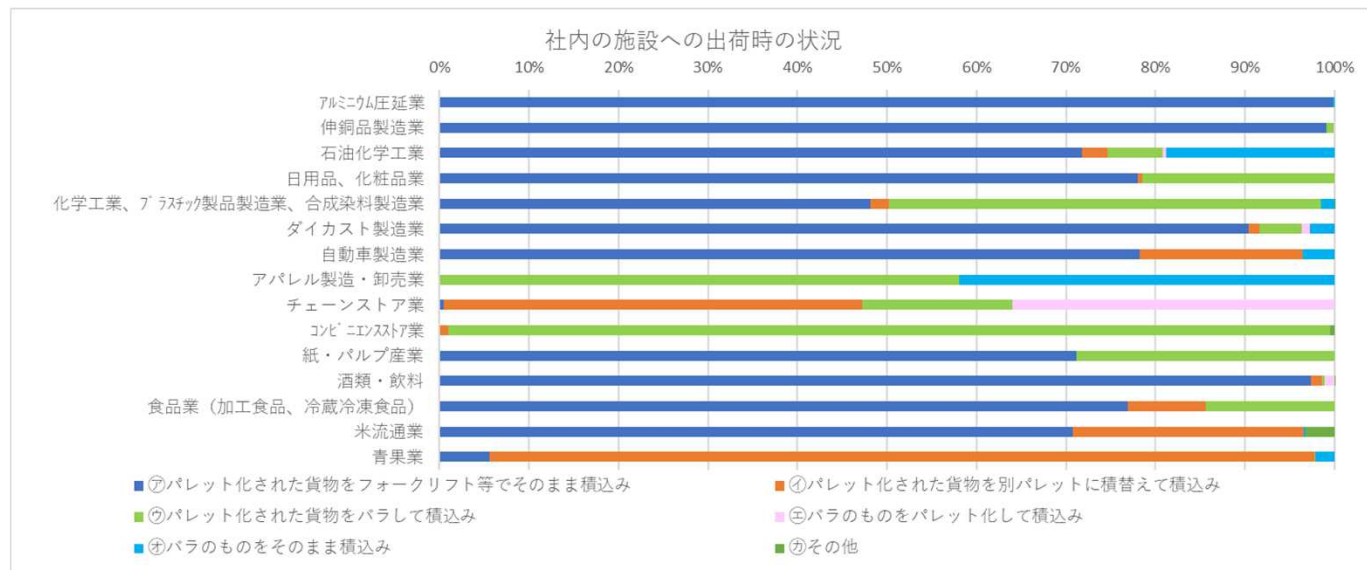
◎社外の施設へのお荷時

	㊲パレット化された貨物をフォークリフト等でそのまま積み込み	㊳パレット化された貨物を別パレットに積替えて積み込み	㊴パレット化された貨物をバラして積み込み	㊵バラのものをパレット化して積み込み	㊶バラのものをそのまま積み込み	㊷その他
アルミ圧延業	1,300,718	0	25,344	0	3,991	0
伸銅品製造業	156,793	14,038	0	0	24	0
石油化学工業	1,855,481	700,412	205,466	351,260	578,586	45,638
日用品、化粧品業	466,668	85,325	470,897	50,468	0	0
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	18,794	3,492	5,236	512	3	0
ダイカスト製造業	14,823	91	44	30	17	0
自動車製造業	553,224	0	3,582	3,525	1,194	0
アパレル製造・卸売業	0	0	0	1,219	0	203
チェーンストア業	0	0	0	0	0	0
コンビニストア業	1,964	15,609	19,947	0	106,963	0
紙・パルプ産業	176,026	86,338	109,784	0	0	0
酒類・飲料	10,778,798	1,205,439	275,160	1,514,956	553	0
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	1,823,911	776,111	1,294,895	975	0	0
米流通業	148,410	89,425	38,104	1,843	0	0
青果業	218,712	318,563	594,553	2,036	17	314

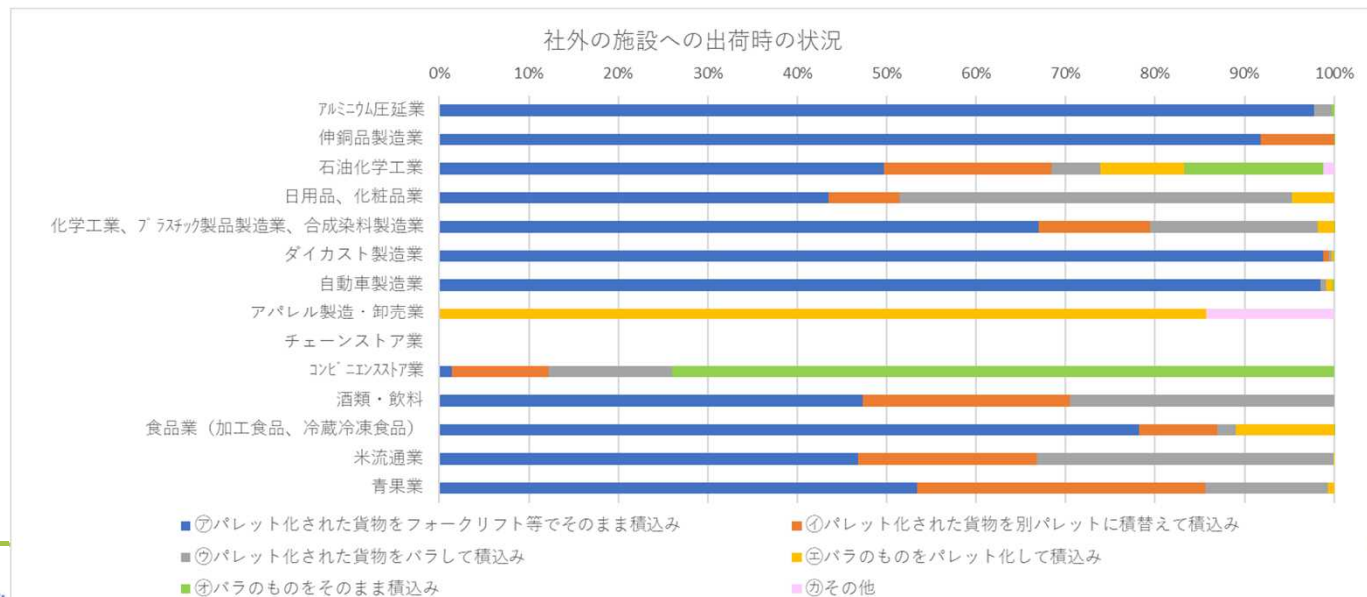
5. 荷役の実態と改善に関する意向

5. 1. 出荷時のパレットの荷役作業実態について（構成比）

◎ 社内の施設へのお荷時



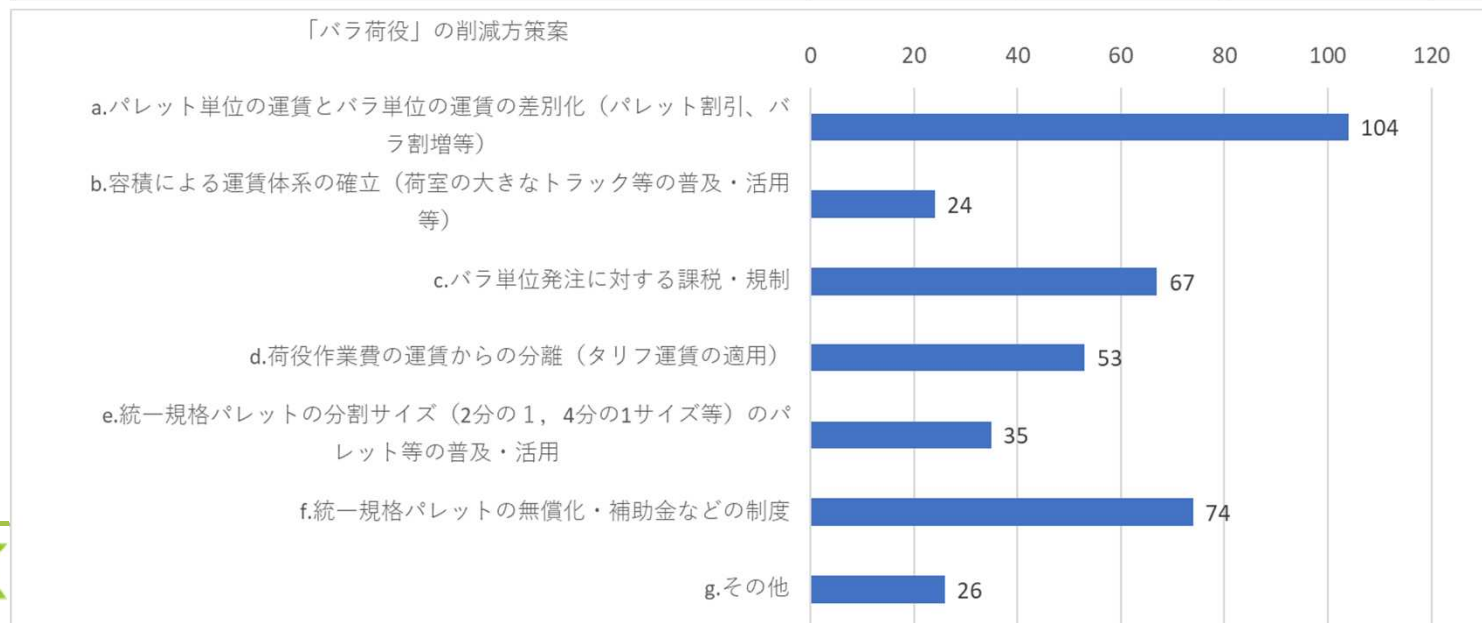
◎ 社外の施設へのお荷時



5. 荷役の実態と改善に関する意向

5. 2. 手荷役の削減方策案について（総数）

- 「別パレットへの積替え」の削減方策案は、「a.業界レベルでのパレットサイズの統一」が最も多い。
- 「バラ荷役」の削減方策案は、「a.パレット単位の運賃とバラ単位の運賃の差別化（パレット割引、バラ割増等）」が多い。（複数回答可）



5. 荷役の実態と改善に関する意向

5. 2. 手荷役の削減方策案について（業種別内訳）

- 「別パレットへの積替え」の削減方策案を業種別に見ると、多くの業種で「a.業界レベルでのパレットサイズの統一」が過半数を超える回答となっている。

（複数回答可）（なお、過半数を超えている項目を網掛け。以下、P40まで同様。（1社のみ回答の業種除く））

業種	有効 回答 数	a.業界レベル でのパレットサイ ズの統一	b.パレットの 共有化（レ ンタル化）	c. 必要なパレット、 回収してほしいパ レットを循環させ る仕組み	d.荷役作業費 の運賃からの 分離（タフ運 賃の適用）	e.統一規格パ レット化貨物の 運賃割引制度	f.統一規格パレット の無償化・補助金 などの制度	g.その 他
アルミウム圧延業	3	2		2				
伸銅品製造業	11	4	1	2	5	2	4	1
石油化学工業	18	13	10	9	4	10	11	5
日用品、化粧品業	7	4	3	3		2	3	1
化学工業、プラスチック製 品製造業、合成染料 製造業	9	7	4	4	2	1	7	1
ダイカスト製造業	7	5	1	4	1	2	5	1
自動車製造業	7	5	2	5	1	1	3	
アパレル製造・卸売業	7	4	3	3	2	3	4	
チェーンストア業	7	3	2	1	2	2	2	3
コンビニストア業	5	2	2	2			2	1
紙・パルプ産業	1	1	1	1	1			
酒類・飲料	64	42	27	32	7	15	20	5
食品業（加工食品、 冷蔵冷凍食品）	14	9	8	7	7	3	4	3
米流通業	13	8	9	8	2	6	9	1
青果業	23	16	13	13	3	7	15	3
合計	196	125	86	96	37	54	89	25

5. 荷役の実態と改善に関する意向

5. 2. 手荷役の削減方策案について（業種別内訳）

- 「バラ荷役（手荷役）」の削減方策案を業種別に見ると、多くの業種で「a.パレット単位の運賃とバラ単位の運賃の差別化（パレット割引、バラ割増等）」が過半数を超える回答となっている。（複数回答可）

	有効 回答 数	a.パレット単位の運賃とバラ単位の運賃の差別化（パレット割引、バラ割増等）	b.容積による運賃体系の確立（荷室の大きなトラック等の普及・活用等）	c.バラ単位発注に対する課税・規制	d.荷役作業費の運賃からの分離（タリフ運賃の適用）	e.統一規格パレットの分割サイズ（2分の1, 4分の1サイズ等）のパレット等の普及・活用	f.統一規格パレットの無償化・補助金などの制度	g.その他
アルミ圧延業	3	2			1	1		1
伸銅品製造業	11	5	2	1	6	2	2	1
石油化学工業	18	14	4	9	9	4	7	4
日用品、化粧品業	7	5	3	4	1		3	1
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	8	6		4	2	2	4	1
ダイカスト製造業	7	7	1	4	1	2	4	1
自動車製造業	7	4		4	3	2	2	
アパレル製造・卸売業	7	2	2	1	1	1	2	1
チェーンストア業	6	3	1	1	2	2	2	2
コンビニストア業	5	1				2	3	2
紙・パルプ産業	1	1		1	1			
酒類・飲料	63	30	3	27	11	7	19	6
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	13	8	2	6	7	4	4	3
米流通業	12	5	4	2	1	2	8	
青果業	21	11	2	3	7	4	14	3
合計	189	104	24	67	53	35	74	26

6. 共同利用・共同回収に関する意向

■ 共同利用・共同回収システムの普及・拡大の必要性については、3分の2が必要と回答している。

	有効 回答 数	1. 必要	2. 必要 ではない	3. わから ない
アルミ圧延業	4		4	
伸銅品製造業	13	3	8	2
石油化学工業	19	12	7	
日用品、化粧品業	8	8		
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	9	3	4	2
ダイカスト製造業	8	5	1	2
自動車製造業	7	5	2	
アパレル製造・卸売業	7	2	2	3
チェーンストア業	8	4	4	
コンビニストア業	6	4	1	1
紙・パルプ産業	1	1		
酒類・飲料	70	53	15	2
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	14	12	2	
米流通業	14	13	1	
青果業	25	16	5	4
合計	213	141	56	16
合計の構成比	100%	66%	26%	8%

〇わからないとした場合の意見

石油化学工業	2	共通で使われるサイズや種類（木材、樹脂等）が受け取り側に受け入れてもらえるか分からないため パレットを使用する機会が少ないため
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	2	共同回収に肯定的ではあるが、運用上の仕様（サイズや材質）で管理が複雑化する。パレットの傷み具合の標準化（仕様の可否）も必要である。） 各荷主（メーカー）の作業環境で 4 方差し・2 方差し等、使用可能環境が違います。ここを合わせる事ができれば普及しません。
ダイカスト製造業	2	自社で必要な数量を確保できるか不明なため 共同回収の知見が無く、利便性、有効性が不明
アパレル製造・卸売業	3	他社の状況が分からない事と、弊社はパレット納品していないが、現状の運用方法で効率的になるか疑問 平パレットを使用していないため パレットを使用していない
コンビニストア業	1	ロールボックス等に付いては個々の事で有り、業界全体化は著しく難しいと思われる
酒類・飲料	2	問題ないと思う為
青果業	4	現状、市場からの回収がスムーズにされているため。 輸送会社との調整が必要 共同利用をとなると業界の関係部門が概ね賛同、利用しないと、送り先によりパレットを変えないといけなくなり業務が大変になる恐れあると思う。状況で普及拡大の是非は変わると思うため。 現状、パレットは運送業者が用意している為

6. 共同利用・共同回収に関する意向

- 共同利用・共同回収システムの普及・拡大を**必要とする理由**は、「1. 利用が増えることでパレット利用の費用が削減される可能性があるから」と「3. 利用が増えることでパレットの効率的な利用が可能となり資源投入量が少なくなるから」が、多くの業種で過半数を超える回答となっている。

(複数回答可)

	有効 回答 数	1. 利用が増えること でパレット利用の費用が削 減される可能性があるから	2. 利用できる回 収デポが拡大でき、 利便性が高まるから	3. 利用が増えることでパレ ットの効率的な利用が可能となり 資源投入量が少なくなるから	4. 荷受け事業者 の保管・分別の手間 が削減できるから	5. その他
アルミ圧延業						
伸銅品製造業	3	3	1	1	1	
石油化学工業	12	8	9	9	9	1
日用品、化粧品業	8	8	7	3	4	
化学工業、プラスチック製品製 造業、合成染料製造業	3	2	1	3		
ダイカスト製造業	5	1	1	3	2	
自動車製造業	5	4		3		
アパレル製造・卸売業	2	1	1	2		
チェーンストア業	4	3	1	1	2	
コンビニストア業	4	1	2	3	3	
紙・パルプ産業	1	1	1	1	1	
酒類・飲料	53	29	29	37	14	3
食品業（加工食品、冷蔵 冷凍食品）	12	11	6	5	6	2
米流通業	13	7	8	7	7	
青果業	16	11	7	8	10	1
合計	141	90	74	86	59	7

6. 共同利用・共同回収に関する意向

- 共同利用・共同回収システムの共同利用・共同回収の対象範囲・運用のベースの範囲はどこ（誰）が良いかについては、「1. パレット利用の実情が合う複数企業」の回答が多くなっているが、過半数を超える回答があった業種は4つと多くない状況となっている。

(複数回答可)

	有効 回答 数	1. パレット 利用の実情が 合う複数企業	2. 単一の 業界単位	3. 複数の 業界単位	4. パレットレ ンタル・プール 会社	5. 公的セクター (パレット利用者 全体)	6. 誰でも良 い(任意の範 囲)	7. その他
アルミ圧延業								
伸銅品製造業	3				2	1		
石油化学工業	12	2	3	2	5			
日用品、化粧品業	8		2	1	3	2		
化学工業、プラスチック製品 製造業、合成染料製造業	3	2			1			
ダイカスト製造業	5	2	1			1	1	
自動車製造業	5	3	1	1				
アパレル製造・卸売業	2	1				1		
チェーンストア業	4			1	2	1		
コンビニストア業	4	1		2	1			
紙・パルプ産業	1				1			
酒類・飲料	52	28	9	9	4	2		
食品業（加工食品、冷蔵 冷凍食品）	12	5		3	3	1		
米流通業	13	6	4	1	1	1		
青果業	16	3	1	5	4		2	1
合計	140	53	21	25	27	10	3	1

6. 共同利用・共同回収に関する意向

- 共同利用・共同回収システムの普及・拡大を**必要としない理由**は、「3. サイズ・仕様の変更が難しく、他社と共同化が難しい」が多く、多くの業種で必要としないと考えている事業者の過半数を超える回答となっている。(複数回答可)

	有効回答数	1. すでにある共同利用・共同回収システムで十分だから	2. レンタルパレットの仕組みで十分だから	3. サイズ・仕様の変更が難しく、他社と共同化が難しい	4. 運用面(衛生管理等)で基準があり、他社と共同化することが難しい	5. その他
アルミ圧延業	3			2	1	1
伸銅品製造業	8	1		7		
石油化学工業	7	1	3	5	3	
日用品、化粧品業						
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	4			3	3	1
ダイカスト製造業	1			1	1	
自動車製造業	1		1			
アパレル製造・卸売業	2			1		1
チェーンストア業	3			2	1	1
コンビニストア業	1	1				
紙・パルプ産業						
酒類・飲料	15	13	1	6		
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	2		1	2	1	
米流通業	1	1	1	1	1	
青果業	5		2	3	1	1
合計	53	17	9	33	12	5

7. パレット標準化に関する意向

■パレットの規格統一・標準化を実現するための対応策は、「a.統一規格パレットの低コスト化・単価低減（補助金の活用など）」が非常に多く、ほとんどの業種で過半数を超える回答となっている。

（複数回答可）

	有効回答数	a.統一規格パレットの低コスト化・単価低減（補助金の活用など）	b.物流施設の設備変更への補助金	c.統一規格以外の使用への規制強化（課税等）	d.トラック荷台・コンテナ寸法等の統一	e.規格統一による効果の広報活動（CO2排出量削減などの見える化等）	f.その他
アルミ圧延業	4	2	1	1	1	2	
伸銅品製造業	12	10	2	2	2	4	
石油化学工業	19	17	14	6	10	9	4
日用品、化粧品業	8	7	3	1	2	1	1
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	9	9	6	3	6	4	
ダイカスト製造業	9	7	4	4	3	3	
自動車製造業	7	4	1	4	5	4	
アパレル製造・卸売業	9	9	2		3	3	1
チェーンストア業	8	6	4	3	5	4	1
コンビニストア業	6	5	4	1	1		1
紙・パルプ産業	1	1	1		1		1
酒類・飲料	68	61	39	15	24	13	
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	14	12	12	4	6	6	
米流通業	14	13	8	2	4	2	2
青果業	25	22	12		11	6	2
合計	213	185	113	46	84	61	13

7. パレット標準化に関する意向

- JIS規格では、現在2つの考え方が示されており、国内の一貫輸送用パレットとして1100×1100mmの平面サイズが、また、ユニットロードシステム通則（JIS Z0650）においては1100×1100mmに加え、1200×1000mmの平面サイズの2種類が規定されている。また、日中韓物流大臣会合の合意内容でも、上記2種類の平面サイズのパレットに統一していくことが示されている。これらの状況を踏まえた統一の方向性についての確認結果は以下の通り。
- 1100×1100mm平パレットを統一パレットとする意見が最も多いが、業界専用の統一パレットを許容とした2つの項目を合計すると96件と最も大きな回答数となることから、業界単位での標準化の意向が多いことが確認できる。

	有効回答数	1100×1100mmの1種を統一パレットする	1100×1100mm、1200×1000mmの2種を統一パレットする	業界の実情や適合しない商品もあることから、1100×1100mmを全業種推奨とし、業界専用の統一パレットを許容する	業界の実情や上記2種類に適合しない商品もあることから、1100×1100mm、1200×1000mmの2種を全業種推奨とし、業界専用の統一パレットを許容する	その他
アルミウム圧延業	4	1			2	1
伸銅品製造業	12	3	1	3	3	2
石油化学工業	18	5	3	4	4	2
日用品、化粧品業	8	6		2		
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	9	4	2	1	1	1
ダイカスト製造業	9	6		2	1	
自動車製造業	6	1	1	2	1	1
アパレル製造・卸売業	7	1	1	2	3	
チェーンストア業	8	3		2	2	1
コンビニストア業	6	4	1			1
紙・パルプ産業	1			1		
酒類・飲料	66	1	1	15	25	12
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	14	9	1	1	3	
米流通業	14	2	4	4	2	2
青果業	24	9	4	3	8	
合計	206	67	19	42	55	23

7. パレット標準化に関する意向

■ JIS Z0650に記載の2種類（1100×1100mm及び1200×1000mm）のサイズ以外の平パレットを使用する理由は、「製品、商品などのサイズに合わないため（パレットへの積載効率が悪い）が多くなっている。

	有効回答数	製品、商品などのサイズに合わないため（パレットへの積載効率が悪い）	製品、商品のサイズに合わせてパレットを制作するため	過去から使用しているサイズのため	JIS規格などでパレットのサイズが規定されていることを知らなかったため任意のサイズとしたため	その他
アルミウム圧延業	4	2	2			
伸銅品製造業	11	3	5	2		1
石油化学工業	16	9	4	2		1
日用品、化粧品業	0					
化学工業、プラスチック製品製造業、合成染料製造業	4	4				
ダイカスト製造業	2	1				1
自動車製造業	4	3			1	
アパレル製造・卸売業	2			1		1
チェーンストア業	2	2				
コンビニストア業	4			3		1
紙・パルプ産業	1	1				
酒類・飲料	60	16	1	29		14
食品業（加工食品、冷蔵冷凍食品）	1	1				
米流通業	9	5		2		2
青果業	19	11		3		5
合計	139	58	12	42	1	26

7. パレット標準化に関する意向

- 民間の企業間で取り組めると考えられる方策案は、「a.パレット単位の発注の促進（パレット割引の適用）」が最も多く、過半数を超える回答となった業種も多くなっている。
（複数回答可）

	有効 回答 数	a.パレット 単位の発注 の促進（パ レット割引の 適用）	b.手積み・ 手荷役作業 費の荷主負 担の明確化 と適用	c.荷主の協 業による共 同利用・共 同回収の拡 大	d.レンタル パレットの利 用者拡大	e.レンタル パレット会社 による共同 回収の実施	f.パレット回 収デポの拠 点数の増加	g.利用者と 共用・循環し て使用するも のであること の啓もう活動	h.手積み・手荷役 作業の自 動化	i.その 他
アルミ缶圧延業	3		2	1	1	2			1	
伸銅品製造業	12	8	6	1			1	2	3	
石油化学工業	19	11	12	8	9	7	9	9	11	
日用品、化粧品業	8	6		3	4	4	3	1	1	
化学工業、プラスチック 製品製造業、合成染 料製造業	9	6	3	4	4	4	3	3	4	1
ダイカスト製造業	9	8	2	2	2	2	4	5	2	
自動車製造業	7	4	5	3	5	4	3	4	3	
アパレル製造・卸売業	7	3	2	3	1		1		2	
チェーンストア業	7	3	2	1	2	3	2		3	1
コンビニストア業	5	1	3	2		1	1		2	
紙・パルプ産業	1	1		1		1				
酒類・飲料	65	39	18	30	16	17	23	20	13	
食品業（加工食品、 冷蔵冷凍食品）	14	9	6	7	11	11	8	6	7	1
米流通業	14	6	4	7	7	9	6	5	1	1
青果業	25	9	9	8	11	9	8	7	5	2
合計	205	114	74	81	73	74	72	62	58	6